

様式第7号(第7条関係)

公の施設事業報告書

令和4年5月31日

下妻市長 様

所在地 茨城県下妻市数須140番地  
名称 株式会社 [REDACTED] 妻  
代表者氏名 菊池 博  
電話番号 0296-30 [REDACTED]

下妻市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第11条の規定により、次のとおり令和3年度事業報告を提出します。

- 1、公の施設の名称  
道の駅しもつま
- 2、管理業務の実施状況  
別紙参照願います。
- 3、利用状況及び利用拒否の件数・理由  
別紙参照願います。
- 4、使用料又は利用料金の収集実態  
別紙参照願います。
- 5、管理経費の収支状況  
別紙参照願います。
- 6、その他

## 第24期 営業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

### 1. 営業状況

#### (1) 全体の状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行から2年目となり「感染者数の動向や症状」・「ワクチン接種問題」・「緊急事態宣言やまん延防止発令」など、国民の生活スタイルが前年よりどのように変化するか不安な点がありました。その中で売上等収益改善するには従業員一丸となり「創意工夫強化の年」というスローガンのもと、売上目標額を2年前同等の8.2%増を掲げ6億4,724万円と計画を立てました。具体的には生活応援特売セールを基本に旬の農産物、季節商品、新作パンや飲食店の季節献立、当社納豆を毎月PR実施いたしました。

また、観光バスツアーや各地で開催されるイベントの再開を待ち望んでおりましたが開催する運びには至りませんでした。来場者確保のために、例年は近隣市町村に対して毎月テーマを設け「生活応援フェア」の新聞折込広告を下妻市と筑西市の一部を中心に配布しておりましたが、今年からは結城市、小山市、つくば市各方面の一部エリアに範囲を広げ配布部数も3万世帯から月によっては5万世帯へ部数を増加し当社のPRに努めました。更に10月にホームページのリニューアルを行い、見やすくわかりやすく改善した他に、各部門から商品に関する話題提供としてSNSの発信を積極的に実施いたしました。その他、販売価格の見直しや値上げ、定期的に割引券配布、新商品を取入れマンネリ化防止等、様々な取組を行い目的地とした道の駅作りが出来ました。今年度については新型コロナウイルス感染症流行の中、特に3部門は大きく売上高を伸ばし農産物直売コーナーは3億円台に、BAKERYしもんばんは8,500万円台に、お食事処しもん亭は5,600万円台となりました。

年度末2月中旬には「つくばエクスプレス研究学園駅周辺」にスーパーカスミ・新業態ワンランク上のスーパー「ブランデ」が誕生し、3月末まで催事コーナーのオープニングに当社が選ばれ納豆やBAKERYしもんばん販売、当社で販売している地元納品業者の商品販売が可能となり、身近にアンテナショップが出来たことで宣伝効果は高く「ブランデ」を利用された方々が徐々に当社に立ち寄られております。

新型コロナウイルス感染症の流行から2年目で売上回復は従業員の励みにもなり前年度売上高・売上目標額も上回り従業員一同は達成感を味わい自信となり令和4年度も更に活かしてまいります。

売上高は 658,171 千円(前年比 59,865 千円増加・10.0%増加)

#### (2) 各部門の状況について

##### 〈農産物直売コーナー〉

・農産物直売コーナーは「下妻産朝採れ新鮮野菜」と「茨城県産農産物販売」が魅力となり来場者の方より年々電話での問合せも多く下妻産の旬野菜や果物、新米や常陸秋そば粉を求め来館され今年度は「まとめ買い」される来場者が増加傾向となっております。今年度も新型コロナウイルス感染症流行が続くと利用者数がどのように変わるのか、また農作物は天候により出荷量や価格の変動があるため心配もありましたが、過去最高の売上高3億円を超えることが出来ました。

売上高は 304,735 千円(前年比 18,126 千円増加・6.3%増加)

### 〈お土産品&コンビニコーナー〉

- ・新型コロナウイルス感染症流行で前年度から外出自粛要請が発令されると、来場者数減により売上低迷となり大きな影響を受けておりましたが、当社の場合は徐々に回復の兆しが見受けられ秋の行楽シーズンや2月下旬から3月末まで毎週土日の売上が好調となりました。一方、観光土産品業者は箱菓子などが売れず賞味期限一ヵ月を切った商品の在庫処分半額セールなど依頼を受け、値引販売に協力したことも度々あり、観光地やサービスエリアの来場者や売上は厳しいと痛感しました。当社の販売戦略としては、観光需要が見込めない状況で近隣からの来場者向けの商品として「食卓に並ぶご飯のお供シリーズの瓶詰商品や冷凍食品」の販売強化や自宅で晩酌をされる方向けの商品として「お酒とおつまみ」のセット販売強化、季節ごとの行事に合わせた商品販売強化など心掛けました。その他、屋外で季節毎の実演販売や従業員による積極的な館内放送で来場者に呼び掛け、商品PRに努めました。

売上高は 115,129 千円(前年比 15,116 千円増加・15.1%増加)

### 〈BAKERY しもんばん〉

- ・今年度から販売強化として新商品開発した「贅沢パンシリーズ5種類」・「下妻プレミアムプリン」を販売したところ人気商品となり、まとめ買いされる方が多く年間売上第1位は「贅沢クリームパン」、4位「贅沢メロンパン」、5位「下妻プレミアムプリン」が入り新たな看板商品となりました。また、パン1つずつ個包装をしているため衛生的であり、かつ手頃な価格で美味しいとネットでの口コミ評価も高く BAKERY スタッフには励みとなっております。今年度は製造スタッフによる「社内パンコンテスト」を実施し商品化やミニフェアの開催、パンのコストを考え販売価格の値上げを実施する他、ロス無駄の無いように販売数の調整を実施いたしました。その他、話題性のある新商品開発を積極的に実施いたしました。様々な取組を実践し売上高は過去最高の 8,500 万円台となりスタッフは達成感や研究心、見聞を高め日々改善に努めております。

売上高は 85,289 千円(前年比 12,473 千円増加・17.1%増加)

### 〈お食事処しもん亭〉

- ・新型コロナウイルス感染症流行の影響は飲食店にとって大きな打撃となり「マスクを外しての会食」を避ける傾向が根強く、客席が空いていても屋外に料理を運び食べているお客様や弁当を買われるお客様が多くなっておりました。そのため、弁当販売に力を入れ販売数増加を目標としました。例えば旬のこだわり弁当販売や毎月18日を「弁当の日」として特価販売や特別弁当の販売いたしました。また、「下妻市ふるさと納税返礼品・お節料理」の販売について、過去2年は2種類の商品でしたが今年度は1種類増やし、お手頃な価格設定をしたところ販売好調となりました。その他、一般のお客様にも「お節料理」のご予約を積極的に営業もいたしました。今年度は、2月中旬から3月下旬の頃まで客席での飲食件数が徐々に増加傾向となり回復の兆しを感じております。弁当販売、お節料理販売の売上を加え過去最高の 5,600 万円台となりました。

売上高は 56,593 千円(前年比 7,125 千円増加・14.4%増加)

#### 〈そば打ちめいじん亭〉

- ・お食事処しもん亭同様に客席で座って食べる来場者がなかなか増えず、屋外に設置してあるテーブル席のご利用が増えたり、混み合う時間帯を避けて 11 時前後に満席となったり、13 時以降の来場者が多くなり、その都度時間帯に変化のある 1 年となりました。また、来場者を増やすために季節献立やランチの充実、屋外席への誘導や看板の設置、イベント強化、試食販売などを行い収益改善に努めました。

売上高は 43,403 千円(前年比 2,770 千円増加・6.8%増加)

#### 〈下妻納豆工場〉

- ・一昨年は外出自粛要請の影響が大きく取引先の「道の駅 5 ヶ所」、「筑波山周辺の直売所」、「温泉施設」などは売上低迷で苦戦しました。
- 今年度は県境の道の駅や茨城県のアンテナショップ「イバラキセンス」などが売上回復傾向である他、テレビ報道で「納豆に関する免疫力アップ」や「そばろ納豆」が紹介されると当駅の納豆も売れる傾向がありました。また、下半期には新規取引先 3 社も加わり売上改善となりました。この 1 年間は 7 月、8 月の真夏以外の 10 ヶ月間は平均 40 万円増となり 2 年前の同等の売上に回復しております。

売上高は 41,741 千円(前年比 4,013 千円増加・10.6%増加)

#### 〈福よ来い宝くじ売り場〉

- ・11 月に「ロト 6・1 等当選」が当社売場から出ており当選金額は 1 億 342 万円・当選数は全国で 2 口のところ 1 口が当売場から出ており話題性が高まりその後、「年末ジャンボ宝くじ」発売もあり売上好調となりました。

販売手数料 6,169 千円(前年比 280 千円・4.8%増加)

### 3、利用状況及び利用拒否等の件数・理由

#### (1)店舗別の利用者数

店舗名	利用件数(人)
農産物直売コーナー	229,694 件
お土産品&コンビニコーナー	113,302 件
BAKERY しもんばん	105,469 件
お食事処しもん亭	32,192 件
そば打ちめいじん亭	37,907 件
宝くじ売場	49,483 件
研修室	30 人
その他	65,042 件
合計	633,119 件

#### (2)利用拒否等の件数

拒否件数 0 件

#### 4、使用料又は利用料金の収入実態

施設名	利用実績
研修室	2件 30人



## 6、その他

新型コロナウイルス感染症流行から2年目の年、観光需要が見込めない時代、飲食店が悲鳴を上げている時代、来場者確保、売上確保、経常利益確保するには従業員一丸となり創意工夫に取り組んだ結果、前年度売上高、令和3年度売上目標額を超えることが出来ました。

当駅をご利用いただいた来場者と元気に活躍した全従業員に感謝申し上げます。